

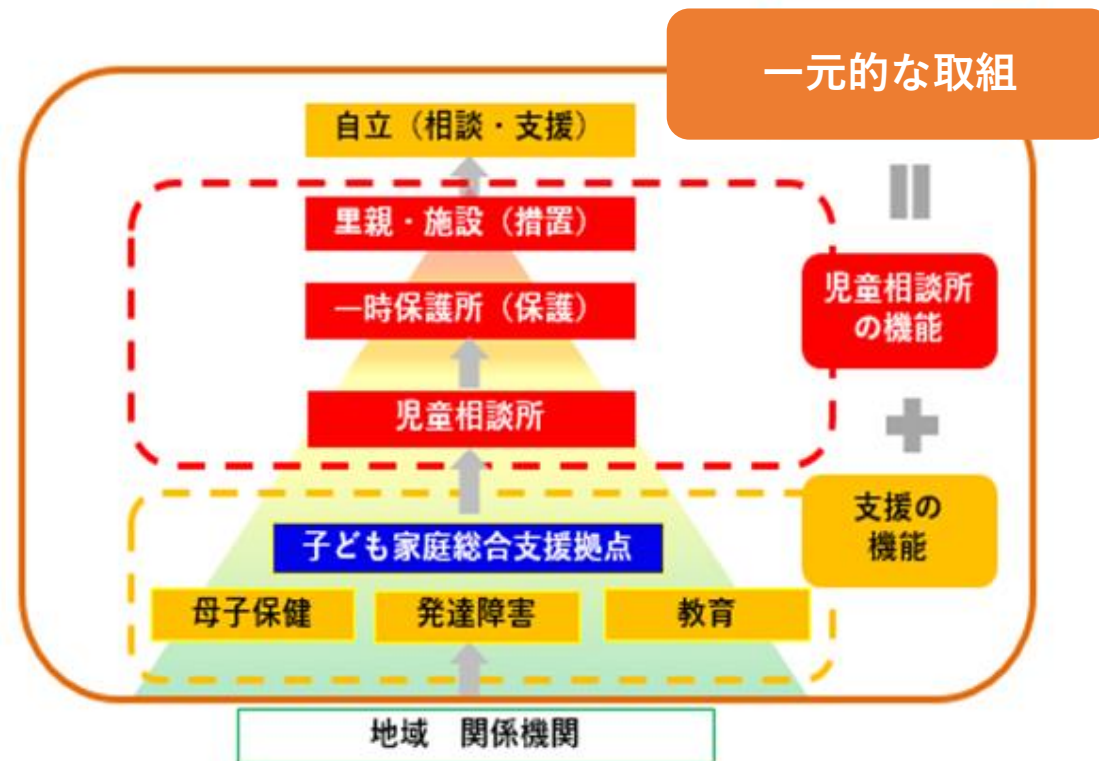
(仮称) 柏市こども・若者相談センター の進捗状況

令和7年10月27日

こども部 こども相談センター

(仮称) 柏市こども・若者相談センターとは

子どもや家庭が抱える複雑かつ困難な状況や問題などに対して、**一元的・一体的に取り組む**ため、柏市で**児童相談所**を開設するほか、**既存の各種機能**（母子保健，子育て支援，家庭児童相談，教育相談，発達支援，若者支援等）の一部を**併せ持つ複合施設**として



(仮称) 柏市こども・若者相談センターを整備

◆ 柏市で児童相談所を開設する意義・目的

より迅速・的確な対応

虐待予防の強化

一貫性・継続性のある支援

センターの基本方針

- ① **あらゆる相談に対応**し、誰一人取り残すことなく複合的な課題を丸ごと支援
 - ② 子どもの成長に合わせて、**出生から自立まで切れ目なく支援**
 - ③ 各種の支援機能と児童相談所の介入機能により、**児童虐待の未然防止を強化**
 - ④ 子どもの最善の利益を優先し、一時保護所においては、**一人一人に寄り添った支援と家庭的な生活環境**を提供
 - ⑤ 市民や関係機関との連携を図り、**地域全体で全ての子どもや子育て家庭を見守る**
-

センターの機能体系

(仮称) 柏市こども・若者相談センター

取組

子育て支援

子ども家庭支援

若者支援

機能

妊娠子育て相談
窓口（母子保健）

はぐはぐひろば
（地域子育て支援拠点）

子ども家庭
センター

児童相談所

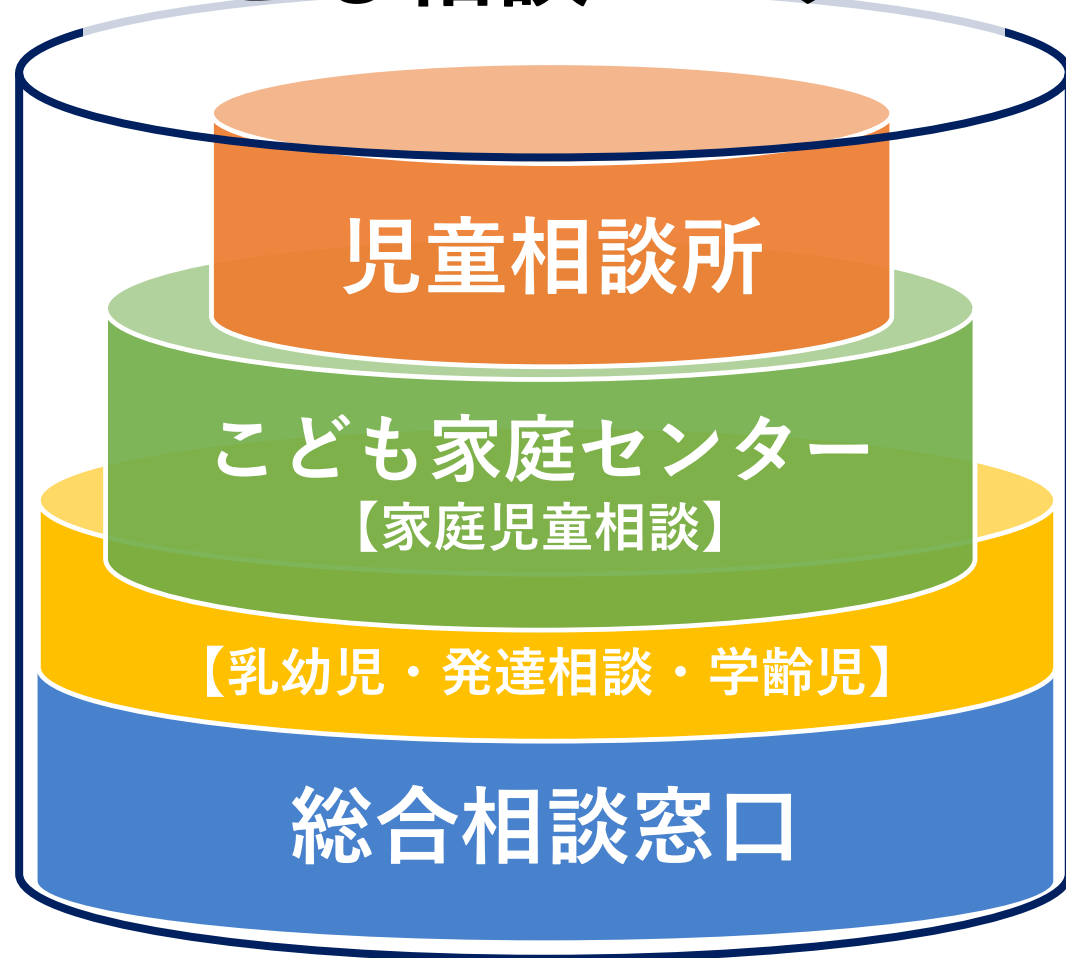
一時保護施設

中高生の居場所

若者の相談居場所
（社会的養護自立支援拠点）

組織の機能体制案

こども相談センター



児童相談所＋こども家庭センターの
両方の機能を統合した一体組織

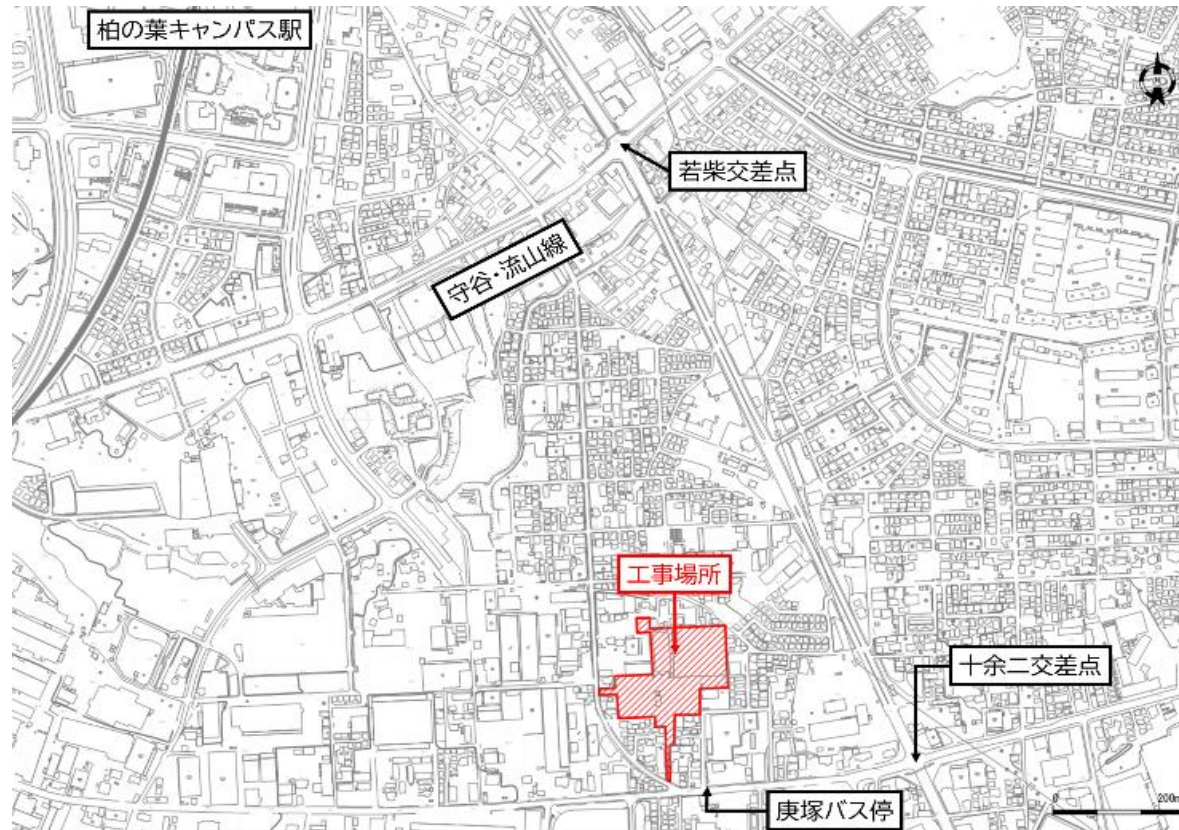
県から移譲される「児童相談所」業務
を実行（一時保護所を含む）

現在の「こども家庭センター（子ども
家庭総合支援拠点）」業務を実行

乳幼児・学齢児・発達等に関わる支援
ベースの業務を実行

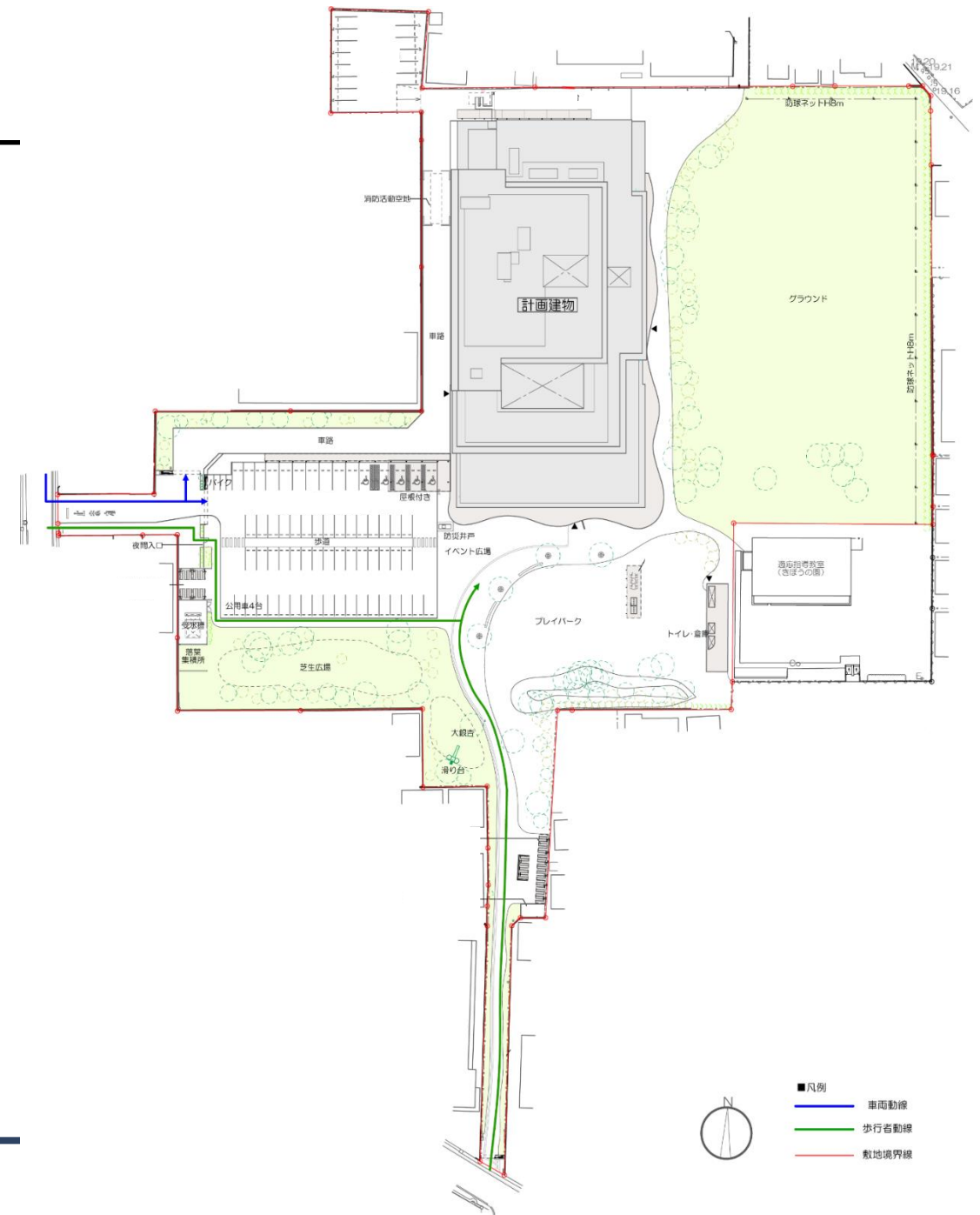
こども～若者に係る“あらゆる相談”の
総合窓口として業務を実行

施設の概要（位置・配置）



【アクセス】

- ① 柏駅西口より、東武バス『若柴循環』又は『柏の葉キャンパス駅東口』行きに乗車
- ② 柏の葉キャンパス駅より、東武バス『柏駅西口』行きに乗車
⇒ 『庚塚(かのえづか)』バス停下車、徒歩3分



施設の概要

所在地		柏市十余二313－92
建築面積		4,144.56㎡
延床面積	本体施設	6,639.59㎡
	外部	313.47㎡
	合計	6,953.06㎡
構造種別		地上3階建て 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
建物の高さ		13.50m



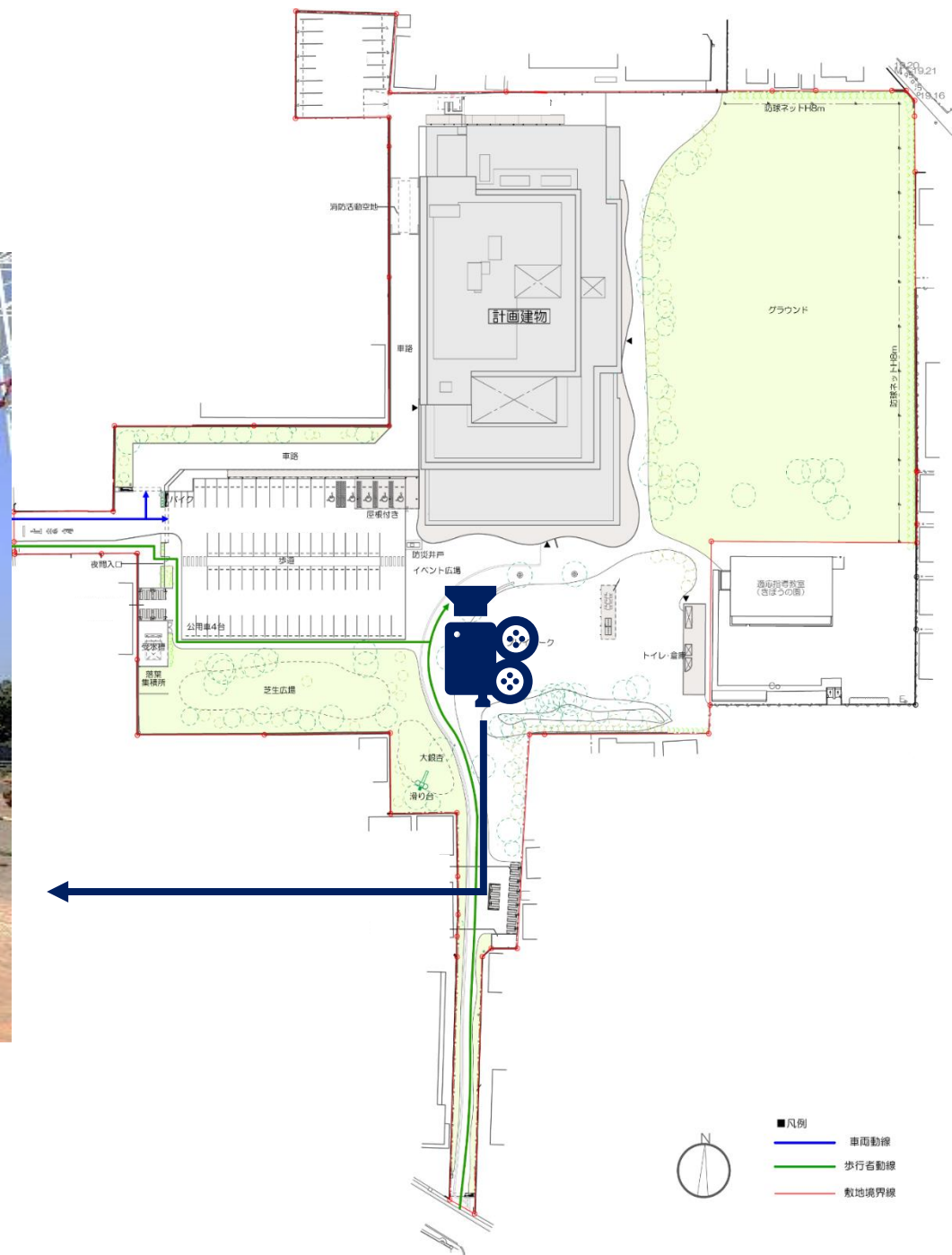
施設の概要（各階）

3階 【検査・会議エリア】	相談室，家族療法室，箱庭療法室，面談室，会議室，研修室
明確な動線で安心して相談できる諸室	
2階 【一時保護エリア】	居室（男子10名・女子10名・幼児5名），学習室，食堂，事務室
家庭的で安らぎを感じる生活空間	
1階 【一般利用エリア】	相談室，はぐはぐひろば，カフェ，アリーナ， 中高生世代の居場所，若者の相談・居場所，事務室
すべての子ども・若者が気軽に相談や遊びに来られる場所	

施設整備の進捗状況①



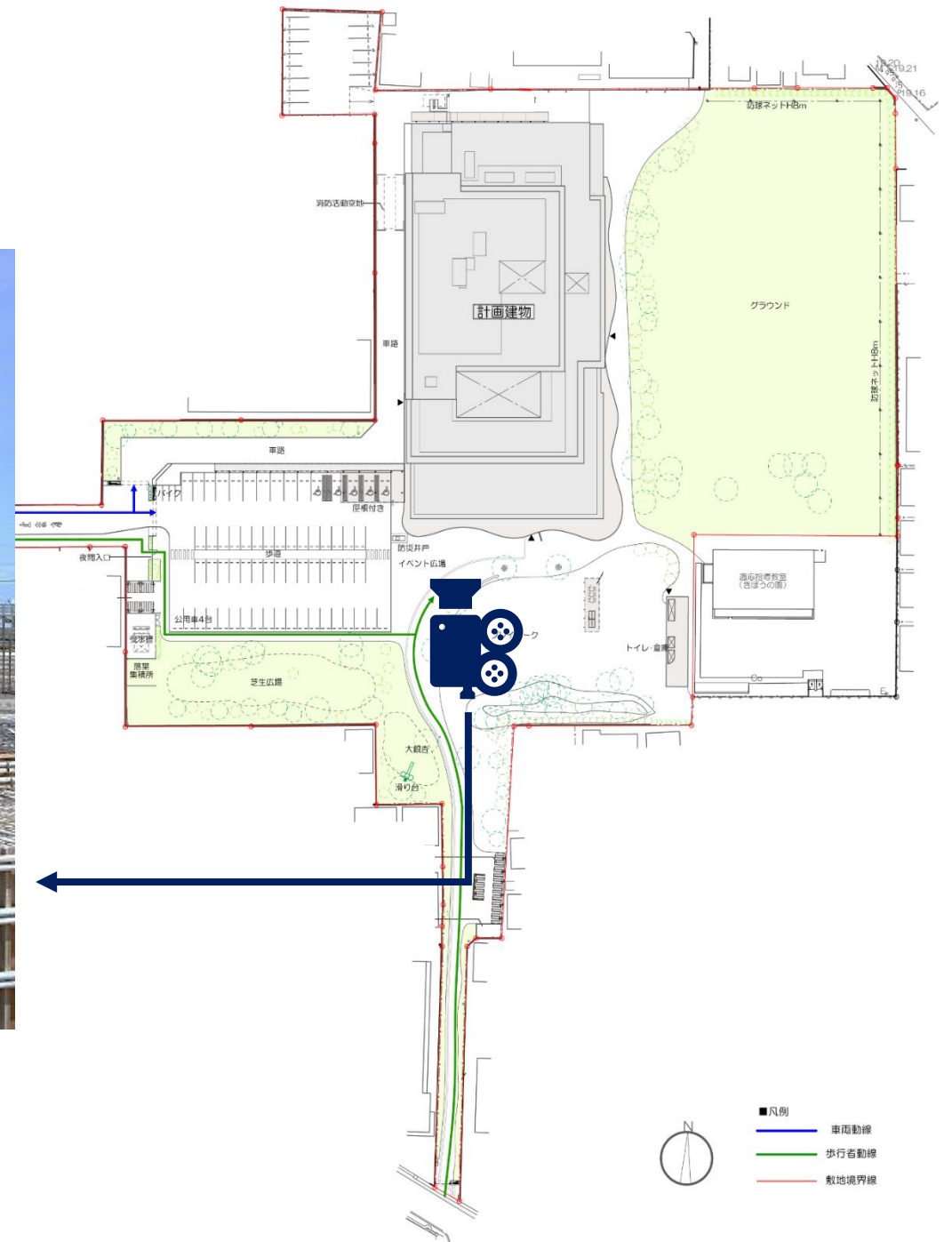
令和7年6月末時点



施設整備の進捗状況②



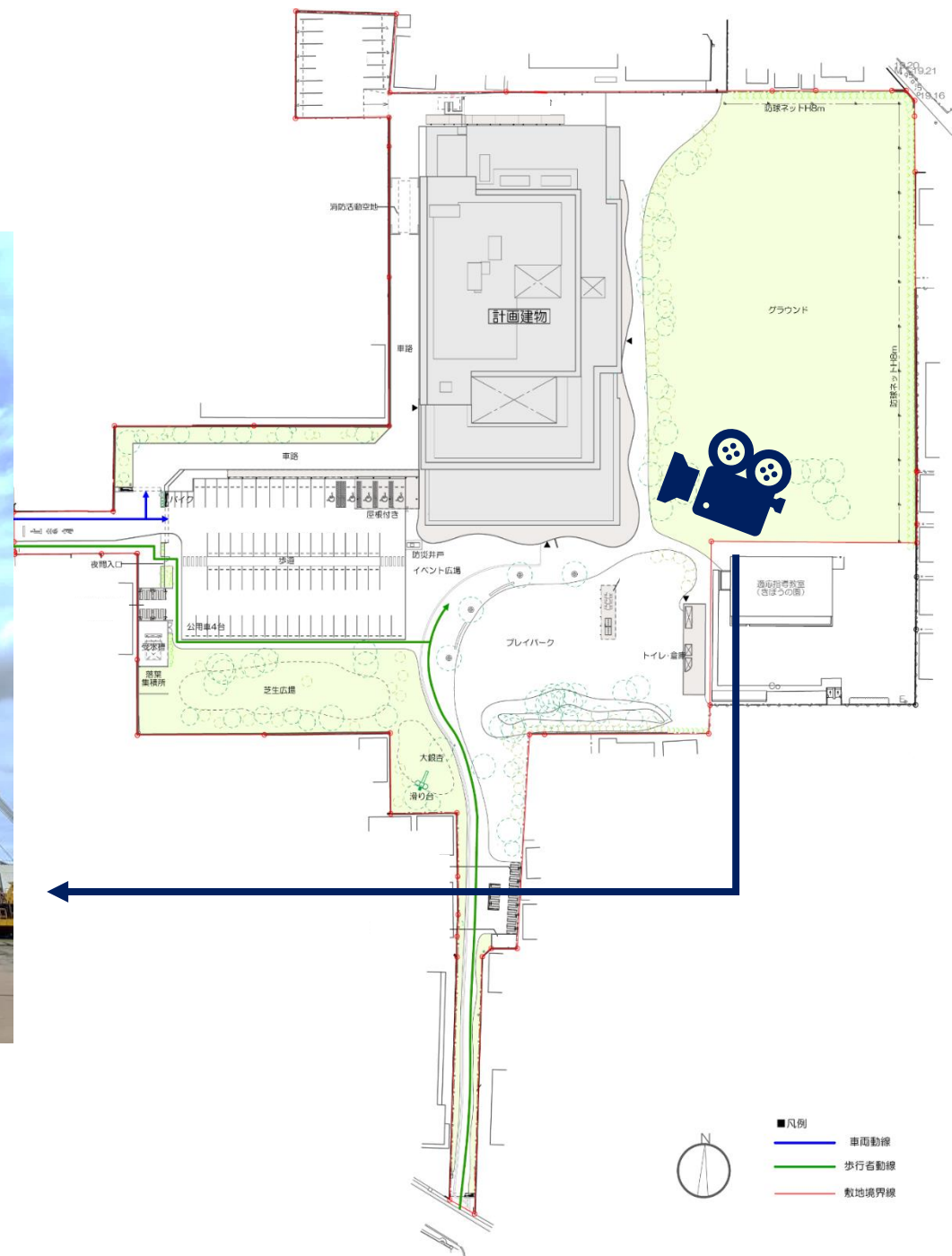
令和7年7月末時点



施設整備の進捗状況③



令和7年8月末時点



全体の行程予定・スケジュール

H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
児童相談所 調査検討	計画策定 人材確保・育成	施設計画/設計 組織体制	施設建設 事務引継	児童相談所 開設					
児童福祉法の改正を踏まえ、柏市での児童相談所設置の調査検討を開始 H30年度に柏市での 児童相談所設置を表明	「柏市立児童相談所設置に関する懇談会」にて方針等を検討 R3年度に 基本計画を策定公表 本格的に 他児相に職員を派遣	子どもから若者支援までの複合施設となるセンターの 整備計画を策定公表 「こども支援室」を設置し、運営体制を検討	(仮称)柏市こども・若者相談センターの 新築工事に着手 千葉県、船橋市と「 児童相談所設置県市検討会議 」にて開設に向けた具体的な協議を実施	柏市児童相談所開設に向けて、県等から移譲事務等の引継ぎ及び関係事務を完了 R8年度中に本センターの開設を予定					